

医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL (059) 345-2321 (代表)

E-mail: sogohos@mie-gmc.jp



大規模地震時医療活動訓練を行いました

当院は県内唯一の基幹災害拠点病院であり、大規模地震などの災害発生時には、被災患者の受け入れや広域搬送、医療救護班の派遣など、県内の災害医療の中心として活動する役割を担っています。

このような中、8月6日(土)に、前日正午に発生した南海トラフ地震により、三重県北部、愛知県、静岡県において大きな被害が発生したとの想定のもと、院内に設置した病院災害対策本部と、広域搬送等において必要不可欠となるDMAT(災害派遣医療チーム)活動拠点本部との連携を検証することを目的に、合同訓練を行いました。

今回の訓練では、模擬患者役として看護学生の方にご協力いただき、実際にドクターヘリや救急車により他病院への搬送を行ったほか、県内外のDMAT隊も訓練に参加いただくなど、緊迫感ある訓練となりました。

多数の被災患者をトリアージによって振り分け、院内での受け入れ調整や、広域搬送すべき患者については、DMAT活動拠点本部と連携して搬送先医療機関等との調整を行うなど、一度に寄せられる多くの情報を整理し、関係部署との調整を行って迅速・的確な対応を求められるなかで、さまざまな課題や問題点も明らかになりました。

来年度も三重県において、内閣府が主催する医療活動訓練が開催されるため、今回の訓練で浮かび上がった課題等について、しっかり整理し、来年度の訓練に役立てたいと思います。

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

大規模地震時医療活動訓練を行いました……………1	食事のギモン箱 vol.3 ……………3
脳血管内治療科、脊椎脊髄外科の設置について……………2	当院の協力病院(連携医療機関)紹介 医療法人 富田浜病院 ……………4
「一般健康講座」を開催します……………2	

脳血管内治療科、脊椎脊髄外科の設置について

脳神経外科部長 亀井 裕介

当院は、三重県における高度医療をけん引する医療機関として、がん・脳卒中・急性心筋梗塞などの高度医療における医療提供体制の充実・強化に努めています。

これまで、脳神経外科部門においても、脳卒中患者に対する血栓回収療法を実施するなど、全国的にも先進的な医療を提供するとともに、「脊椎脊髄外来」を開設し、頚椎症や椎間板ヘルニア等の脊椎脊髄疾患を有する患者さんに対して、専門的な治療の提供を行ってきました。

「脊椎脊髄外来」の開設後、脊椎脊髄疾患の来院患者数や手術件数が大幅に増えているほか、本年4月以降、新たに2名の脳神経血管内治療専門医を採用して、患者の皆さんに、より充実した医療を提供できる体制を整備しました。

このため、院内に「脳血管内治療科」及び「脊椎脊髄外科」を設置し、本年9月1日から「脳神経外科・脳血管内治療科・脊椎脊髄外科」として、月曜日から金曜日まで、患者の皆さんに、より専門的な治療を行わせていただくこととなりました。

高齢化社会になるに従い、脊椎の変性疾患を中心とした脊椎脊髄疾患の患者さんが増えてきています。治療の必要性が高い症状は以下のものです。

- ① 手足のしびれ、いたみ、力が入らない
- ② 首から腰の強度の痛み（開業医の先生にかかっても治らない）
- ③ 歩きにくい、または長い距離が歩けない、手が使いにくい（ボタンがはめられない、字が書けない）

このような症状で困っている方は、早めに治療を開始した方が、回復の程度が良い傾向にありますので、ぜひ一度、当院の「脊椎脊髄外科」を受診してみてください。

「一般健康講座」を開催します

当院では、地域住民の皆さんに、病気とその治療方法や予防策などを知っていただき、健やかな日常生活をお送りいただくため、「一般健康講座」を開催しています。

今回は、脳梗塞がテーマです。冬に多いイメージの脳梗塞ですが、暑い時期の発症も多いんです。

知っている方はおさらいを、はじめての方はこの機会にぜひ知識を深めていただけたらと思います。

病気の概要に加えて、どんなリハビリをするのか、日常的に実践できる体操もご紹介します。

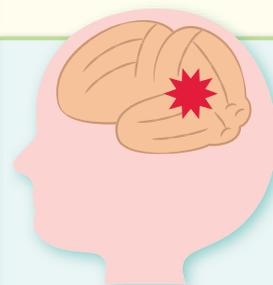
事前申込不要、参加費無料ですので、ぜひ、ご家族・お友達お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

日時 平成28年9月8日(木) 14時～15時

場所 当院7階講堂

テーマ 脳梗塞!! になったらどうなる?? ～脳梗塞の治療からリハビリまで～

講師 神経内科 鈴木 賢治 医師 ほか



テレビのCMや雑誌などで「おなかの調子を整えます」「血圧に効果があります」といったことばをよく目にしたり聞いたりすることがあると思います。どのような違いがあるのでしょうか?

消費者庁のホームページを見てみると…

特定保健用食品(トクホ)

健康増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められている食品。表示されている効果や安全性については国が審査を行い、食品ごとに消費者庁長官が許可しています。

栄養機能食品

一日に必要な栄養成分が不足しがちな場合に、その補給や補完のために利用できる食品。すでに科学的根拠が確認された栄養成分を一定基準量含む食品であれば、届出などをしなくても国が定めた表現で機能性を表示できます。

機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品。特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではありません。

と書かれていますが、違いを理解するのは難しいですね。これらの食品を利用するときは、以下の点に気をつけて利用しましょう。

- 1 たくさん摂れば、より多くの効果が期待できるというものではありません。過剰な摂取が健康に害を及ぼす場合もあります。
- 2 パッケージには1日あたりの摂取量の目安、摂取のしかた、摂取する際の注意事項が書かれています。よく読んで摂取しましょう。
- 3 体調に異変を感じた際は、すみやかに摂取をやめましょう。

共通して言えるのは、これを食べたからと言って疾病が治ったり、完全に予防できるわけではない、ということでしょうか。

まずはご自身の食生活をふりかえてみましょう。

「食生活は、主食、主菜、副菜を基本にバランスよく。」

参考：消費者庁ホームページ

地域医療機関の先生方へ

救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようお願いいたします。

当院の協力病院（連携医療機関）紹介 第27回

医療法人 富田浜病院 院長 河野 稔文

診療科目

整形外科、外科、内科、リウマチ科・形成外科、スポーツ外来、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

外来受付時間

8:00	月	火	水	木	金	土	日
11:30	○	○	○	○	○	○	○

※スポーツ外来は、木曜日15:00～17:00

※脳神経外来は、金曜日10:00～14:30

休診日

木曜日・日曜日・祝日・年末年始

所在地

〒510-8008
四日市市富田浜町26-14
TEL 059-365-0023



当院は四日市市北部のJR富田浜駅から徒歩3分の距離にあり、大正7年に開院以来、今年で98年になります。地域に根ざした病院として、患者さんのニーズに応えられるよう地域医療に取り組んできました。

病床機能は、一般病床、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、療養病床の構成で、ケアミックス型病院として、急性期から慢性期の医療、そして介護を一体的に提供することを目指しています。

急性期では整形外科を中心として年間約600件の手術を行っており、変形性関節症、脊椎疾患、スポーツ外傷、リウマチ、骨粗鬆症による高齢者の骨折まで、幅広く整形外科分野の治療を行っております。また、リハビリテーション部門にも力を入れており、総合リハビリテーションセンターは、理学療法士32名、作業療法士18名、言語聴覚士7名、柔道整復師13名で総勢70名のスタッフで運営しています。回復期リハビリテーション病床では365日リハビリテーションの体制で、患者さんが一日でも早く回復できるように治療を行っています。

地域包括ケア病床は、地域包括ケアシステムの一環として“時々入院、ほぼ在宅”といわれる、在宅療養が困難になった患者さんの緊急入院先としても、地域の医療機関と連携し、その役割を担っています。

退院後は老人保健施設“浜っこ老健”、特別養護老人ホーム“浜風”、訪問看護浜っこステーション、北地域包括支援センター、富田浜在宅介護支援センターなど、富田浜病院グループとして医療から介護まで切れ目無く患者さんのサポートをしています。

地域医療連携室“はまゆう”は、県立総合医療センターなどの急性期病院から、脳卒中や整形外科手術の急性期治療を終えリハビリテーションを目的とした患者さんをはじめとする様々なニーズを持った患者さんを、より適切な治療が受けられるように受け入れ、退院後の在宅療養に向けて、各種医療・介護を受けられるように、連携・調整を行っています。

より安全で、より確実な医療・介護を提供し、患者さんとそのご家族が安心して満足していただける病院となるために、日々新しい医療を取り入れ、県立総合医療センターをはじめとする医療機関と連携を積極的に行っていきたいと考えております。

2年後の平成30年には、創立100周年を迎えます。富田浜病院を今後ともよろしく願い申し上げます。

